

# 心ひとつに

弥富市立桜小学校  
学校だより  
No.24  
平成28年3月11日

## 夢をもつことが必要・・・！

3月9日（水）、三菱航空機株式会社コーポレート部 総務・広報グループ グループリーダーの柳 洋氏をお招きして、「**国産旅客機MRJを世界の空へ**」という演題で、講演をお聴きする機会がありました。

MRJは、三菱重工業とその子会社、三菱航空機が手がける小型ジェット旅客機で、経済産業省の公募に応じた三菱重工が2008年から開発を本格化させ、2015年11月11日の初飛行の成功は、開発関係者のみならず、日本中が歓喜に沸いたことは記憶に新しいことと思います。

この三菱航空機株式会社の本社がある愛知県豊山町の小学校児童に、「**MRJのような国産小型ジェット旅客機の開発・製造のために必要なものは、何だと思いますか**」という質問を投げかけたところ、小学生からは、「人」「もの」「金」という答えが返ってきたそうです。柳氏は、「どれも正解だと思いますが、一番必要なものは、「**夢**」だ」と答えたそうです。

確かに我々の子どもの頃に科学・技術の分野において、「夢」として抱いていたものが、現代では開発に成功し、実用化しているものが多くあります。開発・製造を成功させる技術力やそれに必要な長期的な資金力、開発を支える高い教育水準をもった人材力、世界規模で事業を遂行できる国際力が不可欠なことです。

しかしながら、それ以前の必要なものとして一番大切なものを教えてくださいました。それは、大きな夢を抱き、それをもちつづけることの大切さ、そして、夢に向かってあきらめずに努力を重ねることの大切さです。

このことは、科学・技術の分野に限らず、人生のすべてにおいて当てはまることではないかと思います。桜小のみなさんも、将来に向けて大きな夢をもちつづけてください。

### MRJとは

三菱・リージョナル・ジェット。三菱重工業とその子会社、三菱航空機が手がける小型ジェット旅客機。経済産業省が事業者を公募し、これに応じた三菱重工が2008年から開発を本格化させた。座席数は約70席と約90席の機種がある。

2015年11月11日に飛んだ約90席のタイプは、カタログ価格が4730万ドル（約58億円）、全長35.8メートル、巡航速度マッハ0.78、航続距離は最長タイプで3千キロ超。「リージョナルジェット」は地方空港と拠点空港などを結ぶことを想定した座席数100席以下の小型ジェット旅客機だ。

この分野では、カナダのボンバルディアとブラジルのエンブラエルが世界2強。

